

1 変異株の特性などについて（感染力、重症化の危険性、ワクチンの有効性など）

- ・デルタ株については、国立感染症研究所が、これまでの変異株と比べて感染しやすいとしており、これまで以上に対策をしっかりと行っていく必要があります。
- ・これまで感染の少なかった 10～20 歳代や小児にも感染が広がってきています。
- ・感染力については、理化学研究所などいくつかの研究で、アルファ株での感染に比べると、デルタ株では、会話の時間は半分以下に、さらに人との距離は約 2 倍あけないと感染のリスクがあるとしています。
- ・重症化のリスクについては、これまでは重症化しにくいと考えられていた 30 代～50 代での報告が増えています。また、小児～20 歳代でも重症化した事例が報告されており、年齢を問わず感染しないようにすることが大切です。
- ・ワクチンについては、2 回の接種が完了し 2 週間が経過したころから効果が期待できます。一部、ブレイクスルー感染と呼ばれるワクチンを接種完了している人での感染が報告されていますが、この場合でも、ワクチン未接種で感染した人と比較すると、明らかに、重症化する率は低くなっています。

2 学校における感染症対策について

- ・新型コロナウイルス感染症に対する予防策は、マスクの着用、換気の徹底、3 密を避ける行動、に加え、手洗い・手の消毒、環境の消毒です。これは、従来株であってもデルタ株であっても変わりません。
 - ・ただし、デルタ株が主流になるにつれ、感染者数が急速に増加していることから、周囲に感染者がいることを前提に、これまで以上の対策の徹底が必要となります。
 - ・3 密は、密閉、密集、密着ですが、これらすべてが感染のリスクになりますので、一つ一つを確実に避ける行動をとる必要があります。
 - ・デルタ株の感染した人が排出するウイルス量は従来株の約 1,000 倍と報告されています。マスクは、きちんと顔にフィットさせてつけることが極めて重要です。種類は不織布マスクが最も効果が期待できます。
 - ・食事中、マスクを外す場面では、近づいて食べないこと、おしゃべりしながら食べないこと、おしゃべりは食べ終わってからマスクをつけて行うことを、しっかりと守ってください。食事の前後の手洗いを必ず行います。
 - ・教室、ご自宅など、滞在する場所では十分な換気が必要です。エアコンをつけていても換気ができていない場合がありますので、部屋の対角線 2 方向の窓をできるだけ大きく常時開けるなど、空気の流れを作る工夫をしてください。
- 日本感染症学会 一般市民の皆様へ ～かからないために、かかった時のために～（2021 年 8 月 6 日）

https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_tameni_210806.pdf



3 家庭内で気を付けていただきたいことについて

- ・ウイルスの感染力が強くなったことで、感染者が同居人に一人でもいると、家族内での感染の広がりを防ぐこと難しくなっています。
- ・日本小児科学会の調査によると、子どもへの感染は、約8割が家族からとなっています。保護者を含む家族全員がしっかりと感染予防を行い、家庭内に感染を持ち込まないことが大変重要です。
- ・ワクチンを接種することにより発症予防、重症化の予防が期待できます。接種対象以下の年齢の子どもたちを感染から守るためにも、周囲の皆様が免疫を獲得することが重要ですので、早期に接種されることをお勧めします。
- ・感染者数が多い期間は、家庭内においても換気を徹底し、マスクの着用も心がけましょう。
- ・発熱、体がだるい、咳が出る、鼻水が出る、ぼんやりしている、などいつもと様子が異なる場合は、外出・登校を控えてください。

ご助言いただいた専門家の方々

東北医科薬科大学 特任教授	賀来 満夫 先生
東北医科薬科大学病院 病院教授	遠藤 史郎 先生
東北大学病院 特命教授	徳田 浩一 先生
東北医科薬科大学 准教授	吉田 眞紀子 先生

担当：仙台市危機管理局危機管理課
仙台市健康福祉局保健所